

4. ご家族・代理で判断される方へ

- 迷うことは、自然なことです。
- ACPは「正解」を決めるものではありません。
- 本人の言葉や生き方を手がかりに。
- わからないことは、わからないまま相談して大丈夫。
- 医療チームも一緒に考えます。

ACPのプロセス



ACPについてのご相談

- これからの治療や生活についての思いは、ひとりで考えなくて大丈夫です。
- 医療者と一緒に、ゆっくり考えていきましょう。

メモ欄（記入用）

お名前

大切にしてきたこと

本人がよく話していた言葉

今日話した内容・参加者

判断を任せたい人

入院をきっかけに、
これからの治療や生活について
いっしょに考えてみませんか？



アドバンス・ケア・プランニング (ACP)のご案内

本人の思いを大切にする医療を目指して

病院名： くわみず病院
連絡先： 096-381-2248

1. ACP（アドバンス・ケア・プランニング）とは

ACPとは、これからの医療やケアについて、本人が大切にしてきた思いを、家族や医療者と話し合い、共有していく取り組みです。

ACPのポイント

- 病気や年齢に関係なく、どなたにとっても大切なことです。
- 認知症などで判断が難しい時も、これまでの生き方を大切にします。
- 一度決めても、気持ちが変われば何度でも見直せます。



2. なぜ入院中に考えるのでしょうか

- 病状の変化によって、自分の思いを伝えにくくなる場合があります。
- 家族や支える人が、判断に迷わないための助けになります。
- その人らしい医療や支援につながります。



3. 話し合う内容の例

- これまでの生活・価値観
 - 大切にしてきた時間、習慣
 - 幸せだったこと
- 治療について
 - できる治療は受けたい
 - 自然な経過を大切にしたい
- もしもの時
 - 誰に判断を託したいですか？
- 療養場所
 - 家・病院・施設
 - どんな支援があれば安心？

決めきれなくても大丈夫です。

「今、どう思っているか」を話すことから始めましょう。